



真生会白百合ベビーホーム便り

明るく、楽しく、元氣よく



白百合の生活の中で、新しいことにチャレンジする子たちが、真剣な表情を見せる場面があります。分からないことが分かり始めている、あるいは、自分の中の何かを糧にしている、まさにその時に見せる姿と言ったら良いでしょうか。私はそこに、子どもの自立に向かう主体というものを強く感じ、感動します。何かをできるように「させる」ことから、子ども自らが取り組む主体となれる環境をつくり出すためには、支援者側の主体性も大きく変えていく必要があるでしょう。子ども一人ひとりの自立支援計画の中に、いかにそれを表現し、盛り込んでいくか。試行錯誤の連続で、すぐに成果が出るものではないのですが、それでも、実に取り組みがいのある課題だと感じています。



社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム 理事長／院長 青木紀久代

お月見

お月見は、中秋の名月といわれる月が1年で一番きれいに見える日に、月を眺めてその年の収穫を喜び、五穀豊穡を願う行事です。ベビーホームでもユニットそれぞれに工夫をしてすすきを飾り、秋の野菜や果物をお供えし、お団子も飾りました。

あるユニットでは、お団子を小麦粉で手作り。また別のユニットでは、紙粘土で手作り。子どもたちのできることに合わせて楽しみ方もそれぞれです。

当日夜はあいにく曇り空でしたが、調理さんお手製のお月見団子を食べて自然の恵みに感謝し、実りを喜びました。



調理さんが作ってくれたお団子、みたらしもかかって、とっても美味しかったよ～

お月見を終えるとハロウィンに向けてお部屋の装飾もチェンジ！当日の仮装も楽しみです♪



10月 各ユニットの様子

【たんぽぽ・すずらん】

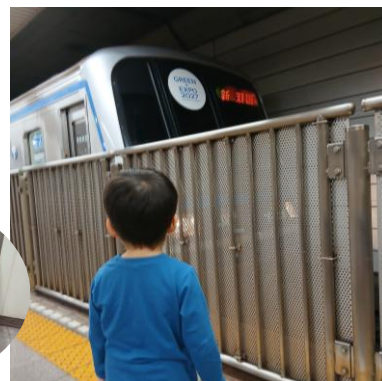
心地よい日が続き、外へお出かけをする機会も増えました。あちこちでどんぐりや色づいた落ち葉も見かけるようになり、自然の中で秋を感じています。

10月6日は十五夜。みんなで月見団子を作ったり、ススキやお供えものと一緒に写真を撮りました。『十五夜』について読み聞かせもお行い、真剣に聞いていた子どもたちは、夕食後に「お月様出てるかな?」「見えるかな?」と何度も窓から空を見上げていました。



【ひまわり・なのはな】

大きい子3人で中田駅へ地下鉄を見にお散歩に行きました。改札口では駅員さんに「(でんしゃ)みせて」と上手に伝えることが出来ました。ホームでは始め少し緊張していましたが、次第に慣れてくると、電車を見るだけでなく、お話しした声がホームに反響する様子を聞いて楽しんだり、トンネルにも興味を示して明かりやカーブしている様子を駅の端っこの柵にしがみついて観察していました。また、白線や黄色い点字ブロックを見て、「これなに?」「なんであるの?」と、電車だけでなく、様々な物にも興味を示していました。今度は電車を見るだけではなく、電車に乗って遊びに行こうね。



【あさがお・すみれ】

涼しくなって外遊びに精を出している子どもたちですが、台風などのお天気には逆らえません。そんな日は室内で遊びます。この日は感触遊びで乾燥わかめが水で戻る様子を体験し、触れて変化も楽しめます。ふにゃふにゃになったわかめを触り、広げ、混ぜて、と色々な方法で思い思いに楽しんでいます。

ところがそんな大人の思惑とは裏腹に、水を入れることを拒否し、乾燥したままのわかめに触れて楽しむ子もいます。子どもたちの個性が光る場面に出会い、楽しみ方のバリエーションの豊富さに驚かされる毎日です。



【もも・あんず】

近くにあるみどりの広場へ出掛けると芝生程度だった草が、夏の間になんと子どもたちの腰の辺りまで伸びていました。しかし伸びた草をものともせず、元気に走り回ったり、かくれんぼをしたり、思いがけない状況にも子どもたちにとっては楽しい遊び場となっていました。

大通りへ行った日には、大好きな車を夢中で見ている子どもたち。「バス来た!」「赤!」「白!」と色当てクイズが次々と始まり、働く車の名前や色をみんなで楽しく覚えていきます。



運動会



＼わっしょい、わっしょい／

秋空に響き渡る元気な声。今年はいつもの運動会とは少し違い、縁日遊びからの流れを受け継いで、大きい子はお神輿を担ぎ、小さい子は山車を引いての入場。

「運動会始まるよー！」の合図とともに運動会が始まりました。

赤ちゃんたちはユニットで過ごす日々の成長をお披露目し、歩けるようになった子から4歳になった子まではそれぞれ得意技を披露しました。最初は緊張で固まってしまう子どもたちもたくさんの応援にこたえ、たくましく頑張る姿も見せてくれて、それぞれの子どもたちの成長がたくさん見ることができました。

フラフープやパラバルーンには保護者の方も参加してくださり、ユニット競技も他のユニットのお友だちが応援で飛び入り参加をしてくれたり、仲間意識を育みながら、みんなで運動会を楽しむことができました！

閉会後はみんなでお昼ご飯の時間です。今年も調理さんが絵本の「おべんとうバス」にちなんだお弁当を作ってくれました。たくさん頑張った後にお外で食べるお弁当は格別。みんなでわいわいと賑やかに締めくくりました。



クッキング「こねる」

10月のクッキングは『こねる』をテーマにピザ作り！袋の中で材料を混ぜ、生地作りから行いました。サラサラの粉からかたまりに形状が変わっていく様子を観察しながらこねこね。ひとかたまりになったらラップの芯を使って生地をのばします。

次はトマトソースを塗り、好きな具材をトッピング。人気はコーンとチーズ、ピーマンやナスをすめると首を横に振る様子も。自分の好きなピザを作ることが目的なのでそれもよし。

いよいよオーブンに入れ、待つこと10分、熱々のピザが焼けました！すぐに食べたいけれど熱くて食べられない、ふうふうして食べてみる、でも熱い、それを何度も繰り返しながら夢中で頬張っていました。ラップの芯を上手にを使って生地をのばす姿に、普段のねんど遊びの経験が活かしていると感じました。遊びと食が繋がっていると実感するクッキングとなりました。



白百合のエッセイ

職員から「白百合で働くこと・やりがいを感じることに」についてお話しいただくコーナーです。第二弾は、栄養・調理部門よりリーダーの黒沢さんです。



私は、この中田の出身で、小さい頃から白百合公園で遊んでいましたので、白百合ベビーホームのことは、よく知っていました。食べることが大好きな私は、調理師となり、ベビーホームで働く夢が叶いました。子どもが大好きな私は、食を通じて子どもたちの笑顔にやりがいを感じ、喜んでいる姿を見たいという気持ちが働く原動力になります。一人一人の好みに合わせてリクエストメニューを取り入れ、誰かと一緒に食べる楽しみを味わいながら、今日もランチルームから元気な子どもたちの声が響きます。「調理さん〜」「ごちそうさま」「野菜全部たべたよ〜」と、からっぽのお皿を見せてきらきらと光る瞳。

これからたくさんの思い出と一緒に作り子どもたちの成長を共に喜んでいきたいです。子どもたちが今後も、元気一杯過ごすことができるよう栄養バランスを考えた給食作りに取り組んでいきます。

11月の予定

- 2, 3日 ホームカミング
- 4日 ダンスプログラム
- 12日 リトミック/防犯訓練
- 14日 音楽プログラム
- 22日 おはなしの会
- 24日 アートプログラム
- 29日 合同防災訓練
(炊き出し訓練)

今月の絵本

なんのくるまに
のるのかな？

作：小輪瀬護安

福音館書店

さつまのおいも

文：中川 ひろたか
絵：村上 康成

童心社

発行元 横浜市泉区中田東1-41-3
社会福祉法人真生会
白百合ベビーホーム
責任者 院長 青木 紀久代
電話 045-803-0398